

令和5年度府中市立府中第七小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ①できていなくても、できているつもりでいる児童がいる。
- ②どうやったらうまくいくかを考えずに、学習を始めてしまう傾向がある。
- ③分からないことがあっても、人に聞くことができない児童がいる。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①基礎基本の定着に個人差があり、学力が二極化しているため、個々に応じた指導の必要がある。
- ②自分と違う意見について考えることが、楽しいと感じられるよう、多様な考えを知り、学び合う学習をすすめる。
- ③教員は、ICT活用に慣れてきているが、児童の学力向上のための活用には、研究が必要である。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- ①繰り返し練習をして、確実にできるようになるまで、学習をする。
- ②うまくできる方法を考え、見通しをもって、学習をする。
- ③困ったことや不安なことは、教師や友達に聞いて学習をする。

(2) 目指す授業像

- ①授業の初めに前単元の振り返り、朝学習で前学年の学習を行う。算数では習熟度別授業を充実していく。
- ②多様な意見を聞いて、自分と違う意見も受け入れられるよう工夫する。
- ③1人1台タブレット端末を、基礎・基本を身に付けるために、効果的に活用する授業。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	自分の考えを的確に伝えるため、組み立てメモを活用する。ペアやグループ学習を多く取り入れ、自発的に考えを話し合えるようにする。	音楽	一人一人の技能向上のために、楽しく、基礎的な技能を身に付けていく。器楽奏法をスモールステップで段階的に進めていく。
算数	ペアで考えを共有したり、説明したりする学習を通して、問題に対する理解を深める活動を多く取り入れていく。	図画工作	様々な用具や材料に触れ、児童の表現の幅を広げるように指導する。グループ活動を増やし、他者の表現を受け入れられるようにする。
社会	児童の生活に関連する資料の提示や発問を具体的にを行う。様々な考え方や見方を学べるようにグループ学習の充実を図る。	家庭	個別に対応する時間を設けたり、友達同士で教え合う時間を設けたりしながら、技術面に対して自信をもてるように指導していく。
理科	生活経験や既習の学習事項と予想の根拠を結び付けて考えられるように、授業を組み立てる。様々な考え方を全体で共有する。	体育	主運動に入る前に慣れの運動の時間を取り入れ、運動の特性に触れながら、運動に親しめるように授業を展開する。
生活	身の回りのことに関心をもち、発見や自己の気づきが生まれるように問い掛けたり発表したりする時間を十分もつ。	外国語	担任とALTが連携し、既習事項を生かして英語のやり取りができる場面を設定し、コミュニケーション能力のスキルアップを目指す。

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

児童同士で、考えを深める場面で、タブレットを使って、多数の意見を共有し、まとめ、発表するために活用する。